

たぞえ麻友

3児の母子育てのたぞえ!

特集 児童虐待防止

お知らせ 地域政党に所属しました **都民ファーストの会**



1 Microsoft社にて勉強会 - リモートワークについて -
2 3 目黒区立かみよん工房のかみよんまつり - スーパーボールすくいを楽しむ次男 -
4 千葉県流山市の視察 - 流鉄流山線流山駅前の地域交流拠点『machimin』流山市議 近藤美保さんと -

たぞえ麻友プロフィール

- 1982年東京都目黒区生まれ35歳
- 目黒サレジオ幼稚園、目黒星美学園小・中・高等学校卒業
- 受験にあたり、予備校の早稲田塾(自由が丘校)にも通学
- 早稲田大学政治経済学部卒業。在学中、南アフリカで開催された持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルグサミット)に参加
- 専門商社に2年勤務後、ベンチャー系経営コンサルティング会社に8年勤務
- 夫、子ども3人(9歳、7歳、5歳)の5人家族、父親と同居。
- 2015年目黒区議会議員選挙当選

たぞえ麻友

TEL 080-8885-6965

事務所への

FAX 03-5722-9794

連絡はこちらから

mail mayutazoe@gmail.com

ご感想、区政に関するご意見等、気軽にお寄せください。



ごあいさつ

こんにちは。今回のレポートは「児童虐待防止特集」として、
3月に目黒区で発生した5歳の女の子が虐待によって亡くなられた事件を受けて、
目黒区議会や、たぞえ麻友が取り組んだことをご報告します。
〈 詳しくは中面をご覧ください。〉

この度、地域政党「都民ファーストの会」に所属したことをお知らせします。

東京23区は地方自治法に定められた「特別区」であり、区政運営において都との連携が欠かせません。
区の声をもっと上げ、また都の政策を知ることが重要です。今まで無所属の議員として実績を積んできましたが、
今後は都政とタッグを組み区政改革を加速させてまいります。

●お詫びと訂正

前回の活動報告レポートVol.5の内容に誤りがありました。混乱させてしまったこと、心より深くお詫び申し上げます。

訂正内容:「ごあいさつ」で「元号「平成」が終わる日」と「統一地方選挙」の日程を平成30年4月と記載しましたが、正しくは『平成31年4月』です。

●アンケート回答の御礼

前回の活動報告レポートVol.5のアンケートハガキにご記入・返信してくださった皆様に御礼申し上げます。ご意見は今後の参考にさせていただきます。また、応援メッセージを励みに、今後がんばります。お寄せいただき、ありがとうございました!

日々、twitterにて区政情報や活動を投稿しています。

www.mayutazoe.com

たぞえ麻友と目黒区の未来を創る会

たぞえ麻友 保活・子育て・区政をツイート中!

最近、反響のあった
twitter投稿はこちらです。



【7月17日スタート!園でのオムツ処分!】
目黒区の認可保育園では、園で使ったオムツを保護者に持ち帰ってもらっていました。私立認可は園で処理してるのに何故?という声がそこそこ巻き起こり、目黒区議会の中でも声が上がり、今回の対応に至りました。



目黒虐待死を受けて、目黒区議会の取り組み

3月2日に目黒区に住む船戸結愛ちゃん(5歳)が亡くなった事件は、目黒区だけでなく日本中に衝撃と悲しみを与えました。目黒区議会では3月9日から「予算特別委員会」が開催され、多くの議員から『虐待防止』『虐待予防』に関連する質疑が出されました。「予算特別委員会」は、次年度の目黒区の予算を決める重要な委員会であり、区政全般について質疑が行われるのが通常ですが、今回は異例とも言える虐待対策がメインとなりました。

6月開催の議会では、3月の「予算特別委員会」での質疑を経て、目黒区議会全体として児童虐待防止に対する決意表明を行うため、『児童虐待のない目黒を実現するための決議』を全会一致で可決しました。



目黒虐待死を受けて、たぞえ麻友と超党派議員との取り組み

6月15日に小池百合子東京都知事へ「児童虐待のない社会を実現するための緊急提言～地域全体で子どもを育てる社会～」を行いました。

2015年11月より、東京都内の超党派の地方議員で「児童虐待防止プロジェクト」を立ち上げ、関連する施設への視察や政策の調査研究を行ってきました。また、広く問題を知って

いただくための勉強会も実施し、児童虐待のない社会を目指して活動を続けてきました。6月に警視庁が発表した結愛ちゃんの手記は「児童虐待防止」を大きく動かすうねりを巻き起こしました。2年半に渡り活動を続けてきたプロジェクトメンバーと共に、このうねりを社会改革へとつなげるべく、緊急提言を行いました。提言と意見交換の後に行われた都知事の

定例記者会見で、都知事から提言の内容を取り入れた発言がなされました。提言が今後につながっていくことを実感しました。児童虐待のない社会を実現するために身近な窓口である市区町村はもちろんですが、都や国との連携についても進めていきます。



▲小池百合子東京都知事へ提言書を提出

「5つの緊急提言」

- ！ 早期に、関係機関と本件事件に関する調査を進め、報告してください。
- ！ 児童相談所のイメージを子育て支援施設に刷新してください。
(※児童相談所の設置と運営は東京都が行っています。)
- ！ 本件事件の調査報告を踏まえ、全国の児童相談所、子ども家庭支援センター、警察との連携を検討してください。
- ！ 今後の児童虐待を防止するために、中長期的な視点で子育て支援、青少年育成の拡充をしてください。
- ！ 「自分に何ができるか」という声が上がっている今だからこそ、地域で子どもを育てる大切さを広く周知してください。



ひとり
ひとりが
できること



今回の事件を機に、私に何ができるだろうと考えていただけたら「児童虐待のない社会・目黒」の実現に一步近づきます。ぜひ、一緒に考えませんか？
これまで、児童虐待に対して一人一人が何ができるかについて寄せられたご意見。

問題を知る

児童虐待に関する勉強会が色々なところで開催されています。何故児童虐待が起こるのか、知ってみませんか？

ボランティア活動

私も目黒区内にある児童養護施設のボランティア登録をしています。また、目黒区のファミリーサポートセンターに登録すると、子育て世代の困りごとを支援する活動ができます。

里親になる

家族と暮らすことができない子どもを一定期間、自分の家庭で育てる制度のことです。里親になって、子どもが健やかに育つサポートをしませんか？

寄付をする

児童虐待防止に取り組む団体や児童養護施設等を巣立つ子どもを支援する団体など、様々な団体が寄付を募っています。金額の多寡ではなく、気持ちを寄せてみてはいかがでしょうか。

子育て世代の方に声を掛ける

孤立した子育てや育児ストレスを軽減するためのサポートは行政も行っていますが、地域のお節介りや見守りも大切です。ぜひ、子育て中の人に温かい声かけをお願いします。



日々の活動は、ブログ、Facebook、twitterをご覧ください。

www.mayutazoe.com



たぞえ麻友と目黒区の未来を創る会



たぞえ麻友 保活・子育て・区政をツイート中！